

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	-	-	-
		コンビニ（経営者）	・品ぞろえに力を入れ、売上を上げるよう工夫する。
		ゴルフ場（経営者）	・客単価の傾向がかなり良く、良い方向へ向かっている。
		住宅販売会社（営業担当）	・建築費の総額が全体的に増え、太陽光発電と合わせて蓄電池の導入も増えてきている。
		一般小売店〔菓子〕	・国内入域客はほぼ横ばい、外国人観光入域客は増えるも、あまり購入に結び付いていない。
		百貨店（店舗企画）	・徐々にインバウンド効果も薄くなり、衣料品の上がる要素もなく、ライフスタイル用品や食品に頼らざるを得ない。イベントで動員強化を図り、食品売場へ誘導する状況が続くであろう。
		衣料品専門店（経営者）	・例年なら今月は、新しい季節の商品に切り替わって、先買いも結構出てくるが、今年に関しては特に少ない感を受ける。テレビ等で景気が良いとかいう話が出るが、民間はまだそういう感じはしておらず、様子見だとみられる。
		衣料品専門店（経営者）	・今年は異常気象で、このまま台風が発生し続けると当方の職種は景気が悪くなるとみている。
		乗用車販売店（経理担当）	・今のところ、特に不安材料が無い。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・特に大きく変化する要因は見当たらない。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階における予約受注から推測される今後2～3か月後の客室稼働率は、今月と同様に前年同月実績を上回る見込みである。
		旅行代理店（マネージャー）	・大幅に伸びる要素はないものの、減る材料もないので横ばいになると感じる。
		通信会社（店長）	・発売された話題性のある新商品の供給が潤沢でなく、購入待ちの客がいるので、現在の好調は落ちることなく続くと予想している。
	住宅販売会社（代表取締役）	・現在の、やや良い業況が続くと思われるが、一方で土工事や型枠業者などの下請会社が不足しており、工期遅れが懸念材料である。	
	スーパー（販売企画）	・1品単価のアップは続くとみているが、昨年あったプレミアム付商品券の影響が懸念される。	
	x	商店街（代表者）	・本商店街では、衣料品やその他の物品販売業が大変厳しいようである。特に婦人衣料の方は2～3日売れないという、大変危機的状況にあるようである。小さい飲み屋が10店舗ほどあり、そこだけは、元気があるかと思われる。観光客も歩いているが、なかなか買うまではいかない。
	x	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・商品も多角化するが、メインの楽器は低価格の競争輸入品に追いやられ厳しい状況である。
	x	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・あらゆる方面に求人をかけているが、給与を周りより17%上げて、祝い金10万円を提示しても特に調理人は半年以上全く採れていない。現在、シフトが組めず、店休日をいれてしのいでいるが、1人でも倒れると営業できなくなる状態にある。働いている外国人も足元を見て法外な値上げ交渉をしてくる。断ると、さっさとやめていく。
企業 動向 関連 (沖縄)	-	-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・延期されていた工事等が開始される予定である。
		輸送業（代表者）	・公共工事の端境期のなか、宮古島や石垣島でリゾート関連の民間工事が動き出しつつあるが、台風が集中していて、影響が懸念される。
		広告代理店（営業担当）	・県内企業の販売促進活動は、インバウンドを中心とする観光関連企業が受け入れ体制の強化整備に注力せざるを得ない状況から、やや消極的になっている。その他の企業も先行き不透明な景況感を抱いている様子で、販促投資も消極的な状況が続いている。
		会計事務所（所長）	・プラスになる材料もマイナスになる材料も見当たらない。
		コピーサービス業（営業担当）	・良くなる要素が見当たらない。
		建設業（経営者）	・引き合い件数はそれなりにあるが、今すぐに成約に結び付くような客が少ない。
		輸送業（営業）	・県内物流業界においては、需要は増えているものの引き続きのドライバー不足による労働環境の悪化、それに伴う労務管理の厳しさが増していくとみられる。加えて最低賃金のアップが即受注価格に反映もできないことや、燃料値上げも徐々に出てきているため収益悪化となる見込みである。

	x	-	-
雇用 関連 (沖縄)		人材派遣会社(経営者)	・9月上旬期が終わり、契約の終了も多く見られたが、それを上回る問い合わせが続いているので、対応できたら数字は伸びていく。ただし、人材不足の状況も過熱しており、人材確保は更に課題である。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	・これから求人数が増加していく。
		学校[大学](就職担当)	・10月から後期が開始され学生の就活も動きが期待できるが、県内中小企業中心に求人が積極的になることを期待している段階である。
		人材派遣会社(総務担当)	・引き続き求職者不足のため、マッチングに苦労している。
		求人情報誌製作会社(編集室)	・11~12月にかけて、求職活動が鈍くなる傾向にある。このような理由と年末の繁忙期に備え、企業は10月までに人数確保に動くものとみている。
	x	学校[専門学校](就職担当)	・東京オリンピック問題や東京都の問題等を筆頭に、いつまでも解決策が見えない沖縄問題など、様々な問題があり、政治家に対して不信感が拭えない。